



煌めく人々たち

「地元の素材をいかしたケーキ作り」

山下 相子 さん（河浦町崎津・30歳）

河浦町崎津天主堂の近くで、ケーキショップを経営している山下さん。子どものころからケーキ作りが大好きで「いつかは自分の店を持ちたい」という夢を抱き、23歳のときに決意して神戸へ。そして、いろいろなお店を回り、感じるものがたくさんあった。「余った材料をジャムなどに加工する技術にびっくり。決してムダにしない姿勢に感動した」と話す。また、お店の人から「夢を叶えたいのなら行動しないと意味がない」と言われ、オーブンなどの機械の仕入れ先を

みずからの足で探す日々を送った。そのような経験を積み、平成19年9月に実家の増改築にあわせて開店。「何もかも一人でしなければいけないから大変ですけど、楽しいからそんなに苦労は感じません」と笑いながら語る。

「天草にはさまざまな素材があるので作りがいがあります」と言うように、素材をいかしたケーキ作りをモットーとしている。また、崎津の塩やおからを使った創作菓子にも挑戦。なかでも自生しているクレソンを使った「クレソンクッキー」は専門誌などにも紹介されている。さらに、子どもたちのためにお小遣いでも買えるお菓子も置いている。

5月に河浦中学校の『ようこそ地域の先生』に招待され、「思い続けることが、夢に向かっての行動になり実現へとつながる」と生徒たちに伝えた。自身が叶えたからこそ、この言葉には重みがある。

「末永くケーキ作りを続けられたらいい」と語る山下さん。お客さんに喜んでもらうおうち、ケーキ作りに励んでいる。

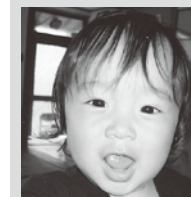
ハッピーバースデー 今月で1歳になります



猪原 萌郁 ちゃん

本渡町本渡
父・和司さん
母・香織さん

音楽が聞こえてくると、体が勝手に動いてしまいます。



吉田 要くん

倉岳町棚底
父・逸人さん
母・ミツ子さん

女の子に間違われる要。最近は男らしくなっています。



平野 心結 ちゃん

志柿町
父・強さん
母・麻紀子さん

お兄ちゃんに負けないくらい元気に育ってね♡まめぞうさん♡



福田 海璃 くん

丸尾町
父・和春さん
母・真理さん

お外で遊ぶことが大好きです。すくすく育ってね！



山田 ゆめ ちゃん

本渡町広瀬
父・淳さん
母・さとみさん

ニコニコ笑顔がステキなゆめです。皆さん、ヨロシク♡



吉田 聡人くん

下浦町
父・久人さん
母・千聡さん

わが家の暴れん坊將軍!!いっぱい遊んで!笑って大きくなーれ



吉田 結希乃 ちゃん

東浜町
父・総一郎さん
母・道子さん

八の字まゆがとってもキュートな元氣娘。お姉ちゃんが大好き♡



澤田 龍河 くん

佐伊津町
父・智大さん
母・いづみさん

皆さん!いつもかわいがってもらってありがとう♡



管田 絢菜 ちゃん

天草町福連木
父・政治さん
母・幸美さん

元氣いっぱい☆わが家のムーディーカーです♪

11月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝10月9日金まで（必着）。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒

863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく歴史の証

「産島八幡宮例祭」（河浦町）

200年以上の歴史を持つ、市の無形民俗文化財「産島八幡宮例祭」。同祭は「海を渡る祭礼」として知られており、今年は10月24・25日に行われます。産島は、宮野河内・上平地区の沖合い1.5kmに浮かぶ周囲約5kmの無人島で、同八幡宮は島の北端にあります。祭神は神功皇后で、熊襲征伐つのおりに、後の応神天皇を同島で出産したという伝説が、島名の由来とされています。

例祭初日は「お下り」で、本宮で神事を行ったあと、神輿を漁船に乗せて仮宮となる対岸の上平十五社宮へ向かいます。2日目は「お上り」で、仮宮境内で獅子舞などが奉納され、



▲神輿を船に乗せて海を渡るようす

天狗や鷹、挟箱や鳥毛などの神幸行列が上平港まで練り歩きます。その後、神輿を漁船に乗せて本宮へ戻ります。船上での太鼓踊りの奉納や十数隻もの漁船が色鮮やかな大漁旗を掲げ、沖合いで輪を描きながら海上を巡るようすは非常に見ものです。

皆さん、ぜひお出かけください。



▲あずきの種まきを行うようす

宮田地区振興会は発足以来4年目を迎え、宮田地区の活性化と、住みやすく、安心して暮らせる地域づくりを目標として活動を続けています。今年4月から、廃校になった宮田小学校の校舎を公民館として利用できるようになり、地区の総合的活動の拠点として、さらに充実した活動に取り組んでいます。

なかでも、「ぜんざいバザーでもやろうか」と軽い気持ちで始めた「あずき作り」。健康福祉部会を中心に栽培を始め、今年もあずき作りの達人たちの手ほどきを受けながら、うねづくりや種まきなどを行いました。これから収穫までは、支柱立てや雑草取りなど、手間のかかる作業がまだ残っていますが、秋の収穫

小さな取り組みから
始めた地域活性化
宮田地区振興会（堀川昭三郎会長）

